

議会だより



議会報告会 2 議案の審議結果 4
各議員の議案に対する賛否の状況 5
討論 6 委員会の主な審査 7
ここが聞きたい!~会派代表質問&市政一般質問~ 8
市議会レポート 18 市議会って?Q&A~一般質問とは?~ 19

定例会のあらまし

平成26年第4回那須塩原市議会定例会は、11月28日から12月16日までの19日間にわたり開催されました。

市長からは平成26年度補正予算案件11件、条例の制定及び一部改正案件8件、報告案件3件、その他の案件7件の合計29件が提出されました。

議会からは、条例の一部改正案件1件、意見書提出案件2件、報告案件2件の合計5件が提出されました。

会議日程

11月28日(金) 本会議

(開会・議案の提案説明等)

12月2日(火) 本会議(会派代表質問・3人)

3日(水) 本会議(市政一般質問・4人)

4日(木) 本会議(市政一般質問・4人)

5日(金) 本会議(市政一般質問・4人)

8日(月) 本会議(市政一般質問・3人・

議案質疑・議案等の委員会への付託)

9日(火)~11日(木)

委員会(付託議案等審査)

15日(月) 委員会

(予算常任委員会全体会)

16日(火) 本会議

(委員長報告・採決・閉会)

寺子小学校1・2年生と高齢者との交流。昔の遊びをたくさん教わりました。(平成27年1月23日撮影)

※寺子小学校は平成27年4月に鍋掛小学校に統合し廃校になります。

議会報告会を開催しました

会場ごとに設けたテーマについて、皆様の「意見をお聞きしました。」

那須塩原市議会は昨年11月に第4回の議会報告会を開催しました。市内3会場に、延べ91名の方のご参加をいただきました。

報告会の開催にあたっては、内容をより充実させるため、参加者からいただいたアンケートなどを参考に、して毎回改良を加えています。議会活動の報告では、前回好評だったスクリーンに資料などを映しながらの報告を増やし、意見交換では、会場ごとに話題性や地域性の高いテーマを設けて、ご意見をお聞きすることにしました。

各会場とも約2時間の中で多くの質問や意見・要望が出され、熱気のある報告会となりました。

参加者の皆様からいただいたご質問やご意見、ご要望は、市議会としての取り扱い方針を検討し、今後の市政や議会活動に反映できるよう努めてまいります。

以下、一部ではありますが、皆様からいただいた貴重なご意見を中心に会場の様子を紹介します。

市議会ホームページには、各会場の報告書やアンケート結果などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

① 西那須野公民館 テーマ「子育てで地域づくり」



11月17日(月) 西那須野公民館 参加者27名

意見 学校給食の使用食材はもつときちんと市が管理すべき。調理員や管理栄養士を増やし、新庁舎を建てる前に各学校に調理場をつくったほうがよい。

意見 市内には全国レベルで活躍している部やスポーツ少年団がたくさんある。子どもたちの活躍は市の宣伝にもなるため、遠征費用などの助成を拡充してほしい。

意見 学校の防犯カメラや通学路の防犯灯も大切だが、地域の大人による見守りもよい。子どもの不安解消や情緒安定につながり、高齢者が地域に貢献できる環境づくりにもなる。

意見 高齢者も何をしたらよいかかわからないでいる。若い世代からこんなことをしてほしいと頼まれれば高齢者のグループで応援できることもある。

意見 保育園の待機児童がいることを初めて知った。一方で幼稚園は定員を割っていると聞いても一般の感覚ではピンとこないが、解消のために市も議員も真剣に考えてほしい。

意見 教育と仕事があるところに人は集まる。教育は人が移住してくる理由になり得るので、まちづくりにとって教育のレベルを上げることが重要だ。

② 稲村公民館 テーマ「みんなで語ろう 黒磯駅前を元気に！」



11月18日(火) 稲村公民館 参加者30名

意見 駅前を活性化するためにはハード整備よりも、ソフト面で人を集めるためのアイデアが重要。

意見 例えば、昔の映画を放映する名画座のような映画館を作れば遠方からも人は集まると思う。そんな市民のアイデアを上手に募る方法も考えてほしい。

意見 きれいで近代的なものより、古い町並みに温かさがある。明治創業の店や歴史を感じさせるものを残しながらうまく生かしたらよいと思う。

意見 高い集客力を持つ図書館から交流センターに人が流れるように同じ建物か隣接がよいと思う。

③ 塩原公民館
テーマ「ヘルスツーリズム」



11月20日(木) 塩原公民館 参加者34名

意見 視力障害センター跡地がヘルスツーリズムの拠点になると聞いている。できれば「天皇の間」を戻してほしい。

意見 知名度を上げ、来客を増やすために、平日(月・木曜)をいかにヘルスツーリズムと絡めるか。また、温泉病院との連携をどう作り上げるかだと思ふ。

意見 県内には高技術を持った工場があり、アジアに多くの製品を輸出している。外国人誘客もヘルスツーリズムと絡め、健康診断が受けられる環境作りとアジアへのセールス活動を行ってはどうか。

意見 2008年のモニターツアーに関わった。医師不足や旅館の負担などの課題とともに予防医療の効果も実感した。パッケージメニューや通年提供は無理でも、部分的なメニューづくりの可能性はあると思う。

テーマ以外に関するご意見もたくさんいただきました。

意見 子どもがいる世帯の除染費用が国から交付金として戻ってきたようだ。そのお金で、除染をしても放射線量が下がっていない世帯への対策をすべきだと思う。

意見 空き家対策に取り組み自治体が増えており、解体撤去の行政代執行まで可能になっている。本市も早急に条例整備や制度づくりに取り組むべき。

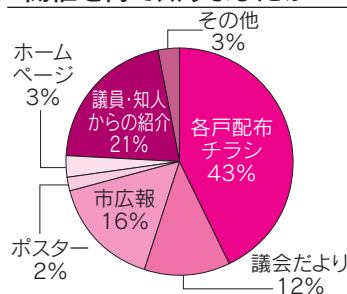
意見 大地震などの災害時に、高齢者や要支援者がどこにどういう状態にいるか実情がわかる仕組みや助けられる体制づくりをしつかり進めてほしい。

意見 塩原地区では農作物の鳥獣被害がかなりひどい状況で、電気柵の整備などをして追いつかず、農家にとっては死活問題。観光地として実害の危険性もあるため、現状を踏まえて獣害対策を重点的にやってほしい。

参加者アンケートの結果

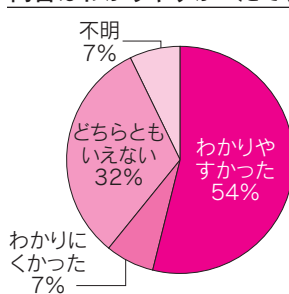
参加した91人のうち、54人からアンケートの回答をいただきました(回収率59%)。

開催を何で知りましたか？



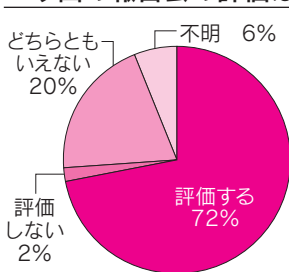
今回はチラシのデザインを変えました。1会場あたりの参加者は倍増しました。

内容はわかりやすかったですか？



前回とほぼ同じ結果です。今回の反省を生かし、内容の充実に工夫を重ねます。

今回の報告会の評価は？



多くの方に評価していただきました。さらに質を高めるよう努めます。

《参加者の声》

○資料はわかりやすくできていますと思う。

○議会の結果報告だけでなく、項目を絞って審議の経過とポイントを報告してほしい。

○説明・応答に議員個々の資料不足を感じた。

○庁舎建設に関して、執行部の代弁のような答弁があった。議会の考えが聞きたかった。

○テーマを設定した小グループでの議論はとても良いと思う。

○若い世代がとても前向きで元気な発言をしていて小気味よかった。最低一人一言は発言の機会があると思う。

○初の試みだというグループでの討議は、大変親近感のある改革であり発案者に感謝。

○参加者の発言は時間制限をしてはどうか。

○報告会で出された意見や要望がその後どうなったか説明があるとよい。

○回数を重ねていけばさらに充実し、質も高まるのではないかと。

○次回(5月)の議会報告会は5月に開催する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。たくさんの方の声を聞かせください。

議案の審議結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。
【会期：11月28日～12月16日】

議案番号	件名	結果
議案第71号	平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第72号	平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第73号	平成26年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第74号	平成26年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第75号	平成26年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第76号	平成26年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第77号	平成26年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第78号	平成26年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第79号	平成26年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第80号	那須地域定住自立圏共生ビジョン懇談会条例の制定について	可決
議案第81号	那須塩原市子ども未来基金条例の制定について	可決
議案第82号	那須塩原市工場立地法地域準則条例の制定について	可決
議案第83号	組織機構改革に伴う関係条例の整備等について	可決
議案第84号	那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決
議案第85号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第86号	那須塩原市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議案第87号	那須塩原市営住宅条例の一部改正について	可決
議案第88号	大田原市との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについて	可決
議案第89号	那須町との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについて	可決
議案第90号	那珂川町との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについて	可決
議案第91号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第92号	黒磯那須共同火葬場組合規約の変更について	可決
議案第93号	新市建設計画の変更について	可決
議案第94号	平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第95号	土地改良事業の施行について	可決
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて〔平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第5号）〕	承認
発議第17号	那須塩原市議会委員会条例の一部改正について	可決
発議第18号	米価下落に対する緊急対策措置を求める意見書の提出について	可決
発議第19号	労働者保護ルール見直しに関する意見書の提出について	可決

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件のみ記載しています。そのほかの案件は全員賛成で可決されました。

議案	会派名・議員名	TEAM那須塩原							五峰クラブ				公明クラブ			志絆の会			敬清会		かがやき		日本共産党	採決結果				
		相馬剛	齊藤誠之	佐藤一則	櫻田貴久	伊藤豊美	松田寛人	君島一郎	人見菊一	中村芳隆	磯飛清	齋藤寿一	金子哲也	若松東征	玉野宏	星宏子	鈴木紀	吉成伸一	平山啓子	鈴木伸彦	眞壁俊郎	植木弘行			大野恭男	相馬義一	藤村由美子	山本はるひ
議案第85号 那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
陳情第9号 労働者保護ルールの見直しに関する意見書の採択を求める陳情書		×	×	×	×	×	×	×	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議第19号 労働者保護ルール見直しに関する意見書の提出について		×	×	×	×	×	×	×	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

【○】は賛成 【×】は反対 【欠】は欠席 【不】は不在席

請願・陳情審議結果

12月定例会で審議された陳情の結果は次のとおりです。

区分	受理年月日	件名	提出者住所・氏名	結果
陳情	H26.10.2 (第8号)	集团的自衛権行使容認に反対する国への意見書提出を求める陳情	宇都宮市兵庫塚3丁目10-30 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原 章彦	不採択
	H26.11.12 (第9号)	労働者保護ルールの見直しに関する意見書の採択を求める陳情書	大田原市本町1-2704-62 連合栃木那須地域協議会 議長 木下 敏彦	採択

【請願・陳情は、次の要領で提出してください。】

- ◎あて先（那須塩原市議会議長あて）、提出年月日、及び趣旨・理由等を簡潔に書いてください。
- ◎住所・氏名をはっきり書いて、必ず押印してください。
- ◎請願を提出する場合は、様式に従って紹介議員（那須塩原市議会議員）の記名押印が必要となっています。
- ◎請願者・陳情者が多数のときは、代表者を決めてください。

※受理されたものは、関係する委員会（総務企画・福祉教育・産業環境・建設水道等）で審査をいたしますので、複数の項目にわたる場合は、別々の請願・陳情として提出していただくことがあります。

※必要により図面（その他資料）を添付してください。

討論

■議案第85号 那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について

反対

高久 好一 議員

市は、地域で中小企業のあり方のお手本を示すべきである。国の押しつけで民間と給与引き下げ競争を繰り返してよいのか。

基本給は引き上げず、手当は市の都合で減らすことができる。勤労者は安定した生活はできなくなり、将来の退職金や年金まで減額される恐れがあり認められない。

■陳情第9号 労働者保護ルールの見直しに関する意見書の採択を求める陳情書

賛成

眞壁 俊郎 議員

雇用社会日本の主人公である雇用労働者が、安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことができる環境を整備することを求めるものがあり、デフレからの脱却、若い人の結婚、出産につながり、ひいては日本経済社会の持続的な成長のために賛成する。

賛成

高久 好一 議員

ILOなど国際的な流れに逆らう安倍政権の姿勢は異常であり、労働者派遣法の改悪に続き、長時間労働を野放しにする「残業代ゼロ」のホワイトカラーエグゼンプションや、金さえ払えば「解雇の自由化」も合わせて行おうとしている。アメリカを模倣する時代遅れの政策はやめるべきである。

■発議第18号 米価下落に対する緊急対策措置を求める意見書の提出について

賛成

伊藤 豊美 議員

今、稲作農家は大変困窮している。平成26年産米に対する概算金が前年に比べて大幅に引き下げられたため、概算金とはいえず、これでは農家は再生産できず、日常生活にも支障をきたしてしまうことから、国に緊急措置を求めるべきである。

議会用語解説

【討論とは?】

案前について、採決前に「賛成」か「反対」かの意見を表明し、賛意を得るために、意見の異なる相手と意見を同調させようと努めることです。

意見書

■発議第18号 米価下落に対する緊急対策措置を求める意見書の提出について

産業環境常任委員会からの提案が本会議において全会一致で可決され、米価下落に対する緊急対策措置を求める意見書を国に提出しました。

―意見書要旨―

稲作農家が安心して生産に取り組む、国民に安定した食料を供給できるようにするため、米価下落への対策を早急に講じるよう強く要望するものです。

■発議第19号 労働者保護ルールの見直しに関する意見書の提出について

陳情第9号を採択し、労働者保護ルール見直しに関する意見書を国に提出しました。

―意見書要旨―

働く者のうち約9割が雇用関係の下で働く雇用社会において、雇用労働者が安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことができる環境整備を強く要望するものです。

議会用語解説

【意見書とは?】

議会は、その地方公共団体の公益に関することである限り、国会または、国・県などの関係行政庁に議会の意思をまとめた文書を「意見書」として提出することができます。

議会には法人格がないため、請願を行う権利はありませんが、その代わりに意見書の提出が認められています。

【会議録検索システム】稼働中!

会議録検索システムとは、定例会や臨時会の本会議における発言内容を、「開催年」や「キーワード」、「発言者」などで簡単かつ迅速に見つけ出すことができます。

会議録検索システムは、市議会ホームページからご利用できます。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>



委員会の主な審査

予算常任委員会

■平成26年度那須塩原市一般会計補正予算(第7号)

〈議案の概要〉 人事院勧告及び人事異動に伴う人件費の過不足調整、国・県支出金の決定等に伴う予算の調整、年度内に不足する経費、喫緊の課題等への対応に要する経費の追加について予算措置を行うもの。

質疑 総額50億円を超える財政調整基金は多すぎないか？

答弁 合併10周年記念事業や定住促進事業など、来年度以降の事業に備え蓄えておきたいと考えている。

質疑 スポーツ等振興事業補助金で、宿泊費は対象外になるのか？

答弁 小学校の場合には対象外になる。中学校は、関東大会や全国大会もあるため対象になる。

質疑 中止することにした「まちなか元氣アップコンサート」は、当初どのような内容で計画したか？

答弁 音と光を組み合わせたものや、黒磯駅前と黒磯文化会館で同時に行うものを計画していた。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

■平成26年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

〈議案の概要〉 人事院勧告及び人事異動に伴う人件費の過不足調整、並びに施設維持管理費の不足見込みのために必要な予算措置を行うもの。

質疑 電気料が増えたということは、接続件数が増えたということか？

答弁 接続件数も増加しているが、農業集落排水については不明なものがあり、雨の影響などで増加していると考えられる。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

総務企画常任委員会

■那須地域定住自立圏共生ビジョン懇談会条例の制定について

〈議案の概要〉 本圏域の共生ビジョンを策定するにあたり、関係者の意見を幅広く反映させるため、懇談会を設置するための条例を制定する。

質疑 懇談会委員の人選について、具体的な考えはあるか？

答弁 環境、観光、公共交通の分野に関わる方で、那須地域圏内の方を中心に依頼することになるだろう。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

福祉教育常任委員会

■那須塩原市子ども未来基金条例の制定について

〈議案の概要〉 充実した子育て環境づくりのために、教育・保育施設等の整備に必要な財源確保を目的に基金を設置する。

意見 基金の制定により、待機児童の解消や放課後児童健全育成に対し、本市ではそれなりの対応が可能になると思っっている。おそらく国は、消費税をこの問題解消の原資と考えているようだが、いずれまた足りない時が訪れる。今回の措置は、決してずれた問題ではなく、それなりに時勢にあった対応だと思っっている。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

産業環境常任委員会

■那須塩原市工場立地法地域準則条例の制定について

〈議案の概要〉 特定工場の緑地面積率等を緩和し、工場敷地の有効活用、設備投資の促進による経済活性化を図るため、準則条例を制定する。

質疑 条例制定による規制緩和により、工場等拡張工事の申請は、ある程度出てくる見込みはあるのか？

答弁 数社から問い合わせがあり、条例が公布されればすぐにでも取りかかりたいという話を聞いている。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

建設水道常任委員会

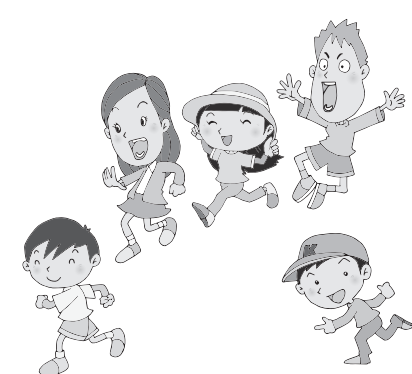
■那須塩原市営住宅条例の一部改正について

〈議案の概要〉 市営住宅の管理を指定管理者に行わせること、連帯保証人の居住地等の条件を緩和するために改正する。

質疑 連帯保証人の条件緩和により、入居者数の増加が見込まれるのか？

答弁 増加人数は正確にわからないが、入居者数が増えると考えている。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。



ここが聞きたい!

●会派代表質問に3会派、市政一般質問に15議員

12月2日に会派代表質問、3日から5日及び8日までの4日間に市政一般質問が行われました。それぞれの議員の様々な課題に対する活発な質問内容の一部を要約し掲載いたします。なお、各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

12月2日

- ① 公明クラブ【鈴木 紀 議員】 9
(1)那須塩原市の将来像をどう描き進めていくのかについて
- ② 志絆の会【眞壁 俊郎 議員】 9
(1)平成27年度当初予算編成について (2)黒磯駅周辺地区都市再生整備計画について
(3)総合計画実施計画(平成27~28年度)について
- ③ 敬清会【相馬 義一 議員】 10
(1)平成27年度実施計画と予算編成方針について (2)固定資産税の課税について
(3)教育行政について (4)農業行政について (5)那須塩原駅前周辺整備について

12月3日

- ① 佐藤 一則 議員 10
(1)奨学資金制度について (2)農業政策について
- ② 磯飛 清 議員 11
(1)広域行政について (2)放射性物質除染と震災復興特別交付税について
(3)市職員の再任用について (4)高齢者福祉施策について
- ③ 山本はるひ 議員 11
(1)那須塩原市誕生10周年記念事業について (2)黒磯駅周辺地区都市再生整備計画について
(3)那須塩原市スポーツ施設整備計画について
- ④ 藤村由美子 議員 12
(1)自然にも人にもやさしい那須塩原で子どもたちを育むために
(2)子ども・子育て支援新制度について

12月4日

- ⑤ 大野 恭男 議員 12
(1)高齢者福祉事業について
- ⑥ 櫻田 貴久 議員 13
(1)観光振興の推進について (2)シティプロモーション戦略の推進について
(3)那須塩原市の野球場とソフトボール場の整備について (4)那須地域広域消防運営計画について
- ⑦ 若松 東征 議員 13
(1)スポーツイベント等を利用した観光誘客について
- ⑧ 相馬 剛 議員 14
(1)スポーツ少年団の全国大会等に出場する場合の費用補助について
(2)施設の指定管理者制度について

12月5日

- ⑨ 齋藤 寿一 議員 14
(1)子ども未来部の創設について (2)くろいそ運動場本球場について
- ⑩ 金子 哲也 議員 15
(1)中学生のオーストリア・リンツ派遣について (2)要支援児童、児童放課後応援事業について
(3)彫刻家「南庄作翁」の顕彰について
- ⑪ 星 宏子 議員 15
(1)聴覚障がい者のバリアフリーについて (2)噴火に対する危機管理について
(3)エボラ出血熱対策について
- ⑫ 高久 好一 議員 16
(1)学校図書館・図書室の職員について (2)子ども子育て新支援制度の進捗について
(3)防災行政について (4)障害者差別解消法の実施に向けて

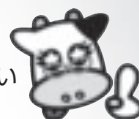
12月8日

- ⑬ 齊藤 誠之 議員 16
(1)小規模企業振興基本法、小規模支援法について (2)まちなか創出について
- ⑭ 平山 啓子 議員 17
(1)ボランティア・ポイント制度について (2)子育て支援の一環としての不育症対策について
(3)女性の希望実る社会にするための取り組みについて
- ⑮ 玉野 宏 議員 17
(1)那須地域定住自立圏構想を踏まえた市の将来像について

INFORMATION

インターネット録画映像配信中!

各議員の質問内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。【12月定例会インターネット中継アクセス数 のべ 1,567人】



会派代表質問&市政一般質問

那須塩原市誕生10周年を迎えるにあたり

具体的な将来像と施策をどう進めるか

人口減少問題について



鈴木 紀 議員

問 女性が産み育てる環境をどう考え、構築していくのか伺う。

答 市長 平成27年4月の施行に向けて、子ども未来基金の設置、子ども未来部を創設して、子育て環境整備を進めていきたい。

問 子どもの貧困対策については、どのような取り組みでいくのか。

答 保健福祉部長 平成27年4月以降、子ども未来部の創設を契機に、支援計画を策定していく必要があると思っている。

問 スクールソーシャルワーカーの人材育成方針について伺う。

答 教育長 今後の大きな課題の一つとして取り上げている。適切な資質を持った人材の配置が、大変重要なことであると思っているので、ぜひ前向きに考えていきたい。

問 2025年問題について

答 いわゆる団塊世代が75歳以上になる、2025年問題にどう取り組んでいくのか伺う。

答 市長 地域包括ケアシステムの構築や、生活支援サービスの体制整備、地域住民主体で見守り活動を行う集いの場を充実させる支え合いの地域づくりを推進していくことを、第6期高齢者福祉計画の中で政策を展開していきたい。

問 那須塩原市の将来像を、どう描き進めていくのか伺う。

答 市長 本市が30年後、40年後に、県北の中核にふさわしい都市になっているよう、未来への投資を行っていききたい。

問 本市独自の目玉になる具体的な施策について伺う。

答 企画部長 英語教育の充実、ICTを活用した教育、プレミアム商品券の発行、子育て環境の充実、那須塩原駅東口のバリアフリー化、子育て応援券の発行等も計画している。

問 具体的にどのようなまちづくりを目指していくのか伺う。

答 企画部長 将来のまちづくりの方向性は、コンパクトシティであるとうと捉えている。また、集落と集落をつなぐ交通のあり方も、今後の中で検討を進めていきたい。

問 具体的な取り組みについて伺う。

答 市長 地域包括ケアシステムの構築や、生活支援サービスの体制整備、地域住民主体で見守り活動を行う集いの場を充実させる支え合いの地域づくりを推進していくことを、第6期高齢者福祉計画の中で政策を展開していきたい。

平成27年度当初予算編成

次の時代に力強い一歩を踏み出せる予算へ



眞壁 俊郎 議員

問 市長就任4年目、那須塩原市誕生10周年の意気込みを伺う。

答 市長 平成27年度は市民が心を一つにできる10周年記念事業を実施し、地域のにぎわい、さらなる郷土愛を育んでいきたいと考えている。

問 また、次世代のために夢のある那須塩原市にするため、事務事業推進のキーワードを「未来への投資」とし、子ども未来部の新設など、推進体制を整備しつつ、引き続き公約に掲げた事業を推進するとともに、定住促進計画の目標達成に向け、子育て環境の充実、雇用の創出、特色ある教育の推進など、計画に掲げた重点事業に積極的に取り組む、住みよさの向上に努める決意である。

問 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画今年度から展開されているこの事業のコンセプトを伺う。

答 市長 本計画の目標は、都市機能の向上による持続可能な中心市街地黒磯の再興としている。具体的には、図書館の整備による拠点性の向上、交流広場や交流センターなどの整備による、まちのにぎわい再生、駅前広場などの整備による交通結節機能強化などが挙げられる。

問 総合計画実施計画

答 平成27年度から28年度の重点事業、新規事業のうち、放射能対策事業と、子育て応援券の交付について伺う。

問 放射線測定、食品等の放射線物質検査、ホールボディカウンターによる放射線内部被曝量測定にかかわる検査費用助成を、今年度に引き続き実施していく。

答 また、市の除染実施計画に基づき、新たに事業所等の民間施設や、生活圏に隣接する森林の除染等を予定しているが、農家の牛舎等についても該当してくると考える。

問 子育て応援券は、子育て支援サービスに利用できるチケットで、子育て中の家庭に対し、各家庭の環境に合ったさまざまな支援サービスを利する際に使うことにより、子育て家庭の不安や負担の軽減を図り、家庭の子育て力を高めることを目的としている。

答 子育て応援券は、子育て支援サービスに利用できるチケットで、子育て中の家庭に対し、各家庭の環境に合ったさまざまな支援サービスを利する際に使うことにより、子育て家庭の不安や負担の軽減を図り、家庭の子育て力を高めることを目的としている。

那須塩原駅東西口を再整備、10周年プレミアム商品券発行

平成27年度実施計画と予算編成方針



相馬 義一 議員

教育委員会としても、特色ある学校づくりを支援し、学校規模の適正化に結びつけていきたいと考える。

農業行政について

問 米価下落の影響に対する市の新たな取り組みを伺う。

答 市長 飼料米や飼料用稲の活用について、市内の農業団体、酪農業協同組合と意見交換会を開催し、課題の整理を行っている。

問 有害鳥獣による農作物被害への支援について伺う。

答 市長 本年度から猿対策巡視員の増員や、獣害に強い集落づくり推進事業を実施している。

那須塩原駅前周辺整備について

問 本市の玄関口として新たな整備計画の考えを伺う。

答 市長 駅前広場の再整備や、市道東那須野大通り線の電線地中化を行う。東口のエレベーター事業は、平成27年度に設計、平成28年度に工事を予定している。

問 建設部長 駅西口の渋滞解消に設置も必要と考えている。面積は約2200㎡で、下側の広場の整備、

シェルターの新築、タワーエレベーターの設置を想定している。県道那須塩原停車場線の電線地中化は、地元との協力が得られればと考えている。

問 「未来への投資」としての事業内容について伺う。

答 市長 人口減少問題への早期な取り組みとして定住促進を図る。主な事業として、特色ある教育推進のためのICT機器導入、子育て世代に向けた保育園や認定こども園の整備、学童保育の充実、那須塩原市立地適正化計画の策定に取り組む。

問 市制10周年プレミアム商品券について伺う。

答 市長 10周年記念事業に位置づけ、総額3億円、20%のプレミアム率での発行がほぼ固まった。

教育行政について

問 特認校制度の取り組みの成果について伺う。

答 教育長 制度開始から3年で38人の申請があり、保護者からは特認校を利用して満足との評価を得ていると認識している。

市政一般質問-1

諸事情による就学援助は不可欠

奨学資金制度について



佐藤 一則 議員

いる貸与金額、保証人を市内在住者に限定していること、他の奨学金との併用可否等の検討を進めている。また、給付型を採用する可能性についても現在研究している。

農業政策について

問 本市の農業政策とこれからの農業振興について伺う。

答 市長 国の産業政策と地域政策に準じ、農業者の所得向上、担い手への農地集積・集約化、新規就農者の確保や農業の多目的機能の維持に取り組んでいる。稲作や酪農を中心としながら高原性の冷涼な空気を生かした園芸作物、さらに繁殖和牛を取り入れた複合経営を特徴とし、夏秋どりイチゴハウス設置、乳用牛、肉牛、養豚の伝染病予防ワクチンの費用補助をしている。

問 販売農家戸数の減少、後継者不足、高齢化の確実な進行が課題であり、設備投資に低金利で利用できる資金制度や、災害時に利用できる国の補助事業を積極的に取り入れ、新規就農者には給付金制度による支援、農業合コンによる後継者の確保、海外研修への助成等でモチベーション維持にも努めている。

答 風評被害には、市内外のイベント等を通して、農産物の安心・安全をさらにPRしていきたい。

問 経済状況や家庭環境の変化から援助を必要とする児童生徒は増え、教育を受けるために就学援助は不可欠である。奨学資金制度の貸与・返還・制度見直しについて伺う。

答 教育部長 貸与の資格条件として、高校や大学等に進学を希望する生徒、在学見込の生徒を対象として、本人または保護者が本市に住所を有すること、学術優秀、品行方正なこと、資金がなく就学困難なこと、保護者の前年度の認定所得金額が一定金額以下で他の奨学金を受けていないこと、市内に住所を有することとなつていて、返還については、貸与期間の2倍の期間内で年払い、半年払い、月払いを選択して返還することになる。

平成28年度の募集からの要綱改定に向けて、大学で月額3万円として

住宅除染表土除去に国から財政支援

震災復興特別交付税の運用について



飛清 議員

福祉施設の整備を図ることを目的とした「子ども未来基金」に7億円、学校耐震化事業の前倒しに約2・2億円を充当。表土除去のために取り崩した財政調整基金4・1億円と積み増し6千万円を含め、全額積み戻しを考えている。

那須地域定住自立圏構想

那須地域定住自立圏構想の進捗状況を伺う。

市長 中心市である本市・大田原市・那須町・那珂川町で構成する共生ビジョン懇談会で、那須圏域の共生ビジョンを策定していく。主として観光・環境・公共交通の分野について重点的に取り組みを進めていきたい。

協定調印の時期はいつごろになるか。

企画部長 平成27年1月下旬から2月上旬の予定で調印できればと考えている。

那須塩原駅東口のエレベーター設置事業を本構想の中で事業化できないか。

企画部長 本構想は那須塩原駅を核とした観光戦略や、公共交通の取り組みが大きな施策の核となる。共生ビジョン策定後、具体的に取り組む事業として考えていきたい。

震災復興特別交付税の詳細について伺う。
総務部長 震災復旧・復興事業等に必要な地方負担に対する財源措置である。中身は市単独事業で進めた住宅表土除去除染の平成24・25年度の費用全額を含めた総額15億5903万9千円である。
交付決定に至るまでの国への要望活動については、各方面の関係者に尽力をいただいた。本市においても市長はもとより、特に前渡邊副市長には、本年当初より環境省・総務省に対し精力的に交渉をいただいた。
震災復興特別交付税の運用について伺う。
総務部長 地方交付税は使い道の歳入になる。12月補正予算の財源として有効に活用するため、認定子ども園や放課後児童クラブなど児童

3 - 市政一般質問

「馬場整備事業」は今年2月に完了 年度内活用へ

テニスコート8面増設は延期、必要に応じ整備



山本はるひ 議員

くろいそ運動場のテニスコート整備について、進捗状況と今後の実施計画を伺う。

教育部長 12面を砂入り人工芝コートに改修した。整備計画の中では、現在多目的に利用しているサッカー場にテニスコート8面増設、クラブハウス、駐車場の整備を位置づけているが、27・28年度の実施計画には計上していない。国体誘致を視野に、必要に応じて整備していきたい。

馬場整備の進捗状況と27年度整備計画、及び今年度馬場として使えるようになるのか伺う。

教育部長 屋内馬場と厩舎の改修工事は2月に完了予定なので、今年度内に活用できると考えている。27年度は木柵や植栽など外構工事を行う予定でいる。運営は基本的には委託を考えている。

馬場の具体的な活用についての内容は？

教育部長 まず引き馬、それと市民の方々の受け入れれとして乗馬の体験コース、乗馬教室や子どもたちの情操教育にも活用できる仕組みを検討中。障がい者の乗馬については、28年度以降になるのではないかと考えている。

市誕生10周年記念事業と予算は？

10周年で行われる記念事業の主な内容と総予算を伺う。

市長 記念式典、まちづくりをテーマとしたシンポジウム、市内の商工会と連携した、20%のプレミアム付き地域商品券の発行などを行っていく。市民活動団体が企画、実践するまちづくり活動に対し活動費を支援する市民提案型協働のまちづくり支援事業の助成内容の充実を図っていく。予算は総額で2億5千万円の事業費を見込んでいる。

図書館と交流センターについて

図書館と交流センターの活用や運営についての進め方を伺う。

産業観光部長 まちなか活性化の拠点となる施設なので「えきっぷくろいそ」の取りまとめ案を踏まえつつ、施設の活用方法、運営形態について慎重に、幅広く協議、検討していきたいと考えている。

子どもの安全な育ちの環境確保と、子育て支援の質の向上を図り

那須塩原市で子育てするメリットのアピールを



藤村由美子 議員

考えており、話し合う機会を設け、情報提供を含め支援に取り組みたい。市として保育計画への影響はあるか。

答 保健福祉部長 50人ほど定員が満たされなくなる。公立保育園の定員の弾力的な運用で対処する。

問 小規模保育事業について、人員配置など、市として要件の引き上げは考えられないか。

答 保健福祉部長 まずは国の基準通りでスタートし、将来的には見直しも考える。

問 保育園の民営化を進める意義はどこにあるのか。長期的展望は。

答 保健福祉部長 国、県などの市への助成が削減されたこと、多様化する保育ニーズへの柔軟な対応などを考慮した。ある程度公立の保育園は残す。

問 虐待やネグレクトなどの早期発見を担う養育支援訪問、乳児家庭全戸訪問にかかわる人員は足りているか。強化が必要と考えるが。

答 保健福祉部長 余裕があるとは言いえないが、職員が頑張ってくれている。今後検討したい。

問 当市には子どもを連れた父親たちが集える場所があるのか。

答 保健福祉部長 整備については子育て支援の中で研究したい。

問 当市の子育てにおいて目玉となる施策は何か。

答 市長 待機児童の解消に取り組んでいる。また、その施策整備を進めるために子ども未来基金と子ども未来部を創設する。

問 基金の使い道を施設整備に特化した理由は何か。

答 保健福祉部長 子ども・子育て支援新制度の中で、認定こども園や小規模保育事業等については、運営面で国、県、市町村の助成が出る。まずは施設整備のための市の援助が総合的に一番いいと考えた。

問 平成27年度、子ども・子育て支援新制度に移行しない園について、背景と市の見解を伺う。

答 保健福祉部長 既存の認定こども園の認定返上や、予定していた事業者の移行取りやめなどについては、国が示した公定価格が背景と

住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者福祉事業について



大野 恭男 議員

ニング、元氣アップデイサービス事業等を実施している。課題としては、要介護状態になる恐れのある方に対して生活機能等の低下を認識していただき、いかに介護予防事業への参加につなげていくかと考える。

問 認知症高齢者支援策や、その家族に対する支援の状況と課題について伺う。

答 保健福祉部長 介護基盤の整備を進めるとともに、総合相談事業、認知症サポーター養成講座、権利擁護の推進等に努めている。

問 課題としては、受診、対応の遅れによる認知症の悪化を防ぎ、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、早期発見、対応の体制作りが必要と考える。

問 在宅で介護を受けている重度の要介護者や、その家族に対する支援の状況と課題について伺う。

答 保健福祉部長 在宅要介護者高年齢者紙おむつ購入助成、高齢者理美容料金助成、日常生活用具給付事業等を実施している。

問 課題としては、支援が必要な高齢者の在宅生活を支えるための多様な生活支援サービスを行政のみならず、地域が主体的に提供できる体制、地域づくりが重要と考える。

問 社会参加活動の支援をどのように取り組んできたか。また課題は何か伺う。

答 市長 生きがいサロン、街中サロン、老人クラブやシルバー人材センターの活動支援、生涯学習講座、スポーツ活動の場の提供等に努めている。

問 課題としては、地域での社会参加に意欲的な高齢者が、知識、技術、経験を積極的に生かせるよう、活動の場所や機会の確保が必要と考える。場所や機会の確保が必要と考える。

問 健康づくり、介護予防事業の推進についての取り組み状況と課題について伺う。

答 保健福祉部長 早期の介護予防につなげるために、65歳以上の高齢者を対象にした二次予防事業対象者の把握、介護予防教室として通所型介護予防教室、元氣もりもり講座、シニアセンターでの筋力トレー

観光経済新聞社主催「にっぽんの温泉100選」

塩原温泉47位・板室温泉96位に堂々ランクイン



櫻田 貴久 議員

問 11月から首都圏で行う本市の観光の告知について、詳細な内容を伺う。

答 産業観光部長 日本航空機内誌11月号において、塩原温泉及び板室温泉の特集記事を掲載、東京モノレールや京浜急行駅構内等での告知、JR東日本とタイアップした山手線等への中吊りポスター掲示、AMラジオ文化放送での広告、埼玉テレビでのPR番組放映等を実施する。

問 東京を拠点とする観光誘客促進強化委託事業の契約内容について伺う。

答 産業観光部長 那須塩原市観光協会連絡協議会が、(株)日旅ビジネススクリエイトに那須塩原市観光振興東京出張所の設置を委託するもので、契約履行期間は11月1日から3月31日まで、契約金額は135万円となる。出張所にはスタッフを1

名配置、JR東日本びゅうプラザや都内の旅行関連会社を訪問して、観光地の魅力をPRしていく。

問 観光客の回遊促進等に向けた地域間連携の強化について伺う。

答 産業観光部長 塩原温泉観光協会が主体となり、那須エリア5市町が連携して観光クーポン冊子「おもて那須手形」を販売した。これを一つのモデルとして地域間の連携を図り、回遊性向上に努めたい。

問 誘客に向けての設備投資等に対する本市の支援策について伺う。

答 産業観光部長 既存の制度として、栃木県の制度融資、本市の中小企業事業資金融資等がある。

また、多様化するニーズへの対応として、来年度発足予定の観光局において、観光関係情報の収集や分析、事業者からの相談業務などを段階的に充実していきたいと考える。

問 観光地「なすしおばらブランド」の構築について伺う。

答 産業観光部長 塩原温泉、板室豊かな温泉を本市ならではの観光素材と考えている。この素材を磨き上げ、温泉といえば塩原・板室温泉が思い浮かぶよう認識されることが、観光地「なすしおばらブランド」の構築に結びつくと考えている。

観光誘客に向けて

スポーツイベント等の活用について



若松 東征 議員

問 塩原温泉湯けむりマラソン全国大会過去5年間にわたる参加人数の推移、参加者の内訳、市内の宿泊施設の利用状況について伺う。

答 市長 過去5年間の延べ参加人数は9124人で、平成22年が1699人、平成23年が1980人、平成24年が1988人、平成25年が1867人、平成26年が1590人と推移している。

参加者の内訳は直近の平成26年で、市内363人、県内626人、県外601人で、県内及び県外からの参加者が約77%を占めている。

大会参加者の市内宿泊施設利用率は、約22%となっている。

問 参加賞や商品の現状、那須塩原ブランド認定品等の市内産品を積極的に用いる考えについて伺う。

答 市長 塩原温泉入浴剤、Tシャツ等を配布し、参加者に喜んでいただけるものを基本として、那須

塩原ブランド認定品を初め、市内商品の活用についても主催者と協議して考えている。

問 那須塩原ハーフマラソン過去5年間にわたる参加人数の推移、参加者の内訳、市内の宿泊施設の利用状況について伺う。

答 市長 過去5年間の延べ参加人数は1万5635人で、平成22年が3133人、平成23年が3105人、平成24年が3095人、平成25年が3257人、平成26年が3045人と推移している。

参加者の内訳は直近の平成26年で、市内1245人、県内618人、県外1182人で、県内及び県外からの参加者が約60%を占めている。

大会参加者の市内宿泊施設利用率は、約13%となっている。

福島〜那須ロングトレイル

問 この大会と本市の関わり、板室温泉宿泊施設の利用状況を伺う。

答 産業観光部長 この大会のゴール地点が板室地区に設定されていることから、板室温泉の知名度向上と観光誘客を期待して、本市では名義後援による支援を行っている。

板室温泉の宿泊施設利用率は9%で、参加者の宿泊を増やす取り組みや、観光PRの充実を図りたい。

スポーツ振興を図るため

スポーツ少年団もスポーツ等振興補助金の対象に



相馬 剛 議員

問 施設の指定管理者制度が導入から8年となるが、この制度に対する市の評価は。

答 市長 現在、65の施設で導入しており、公募により多様な事業者が参入し、次回の選定を意識することで、緊張感を持った施設経営と職員モチベーション向上、また、民間のもつ経営ノウハウを活用することによりサービスの向上とコストの削減が図られている。

問 利用者数が減っている施設もあるが、原因についての所見は。

答 市長 サービスの低下というより、前年度に大きな大会があったり、改修工事で利用できなかったことが、利用者減の原因と考えられる。利用に課題等があるか確認し対応も検討する。

問 民間の能力を十分発揮できるように、市の定める規定だけでなく指定管理者の裁量の範囲を広げてはどうか。

答 市長 指定管理者制度を効果的に運用するためには、指定管理者のモチベーションを維持、向上させるようインセンティブを付与し、市民がより利用しやすくすることが重要である。

今後、指定管理者の経営努力がより反映できる仕組みを研究する。

問 スポーツ少年団にも同様の補助金を交付する考えは。

答 教育部長 スポーツ少年団が、全国大会等への出場に際し、保護者の皆様が大きな負担を払っている現状は承知している。小学生など低年齢層でのスポーツ環境の整備は、本市のスポーツ振興上大切にスポーツ少年団活動における保護者負担の軽減のあり方については、今後検討していきたい。

くろいそ本球場の施設改修設計について

利用者にも安全な公認野球場を



齋藤 寿一 議員

問 現状の球場施設の課題点について伺う。

答 教育部長 雨水排水の能力低下、内外野フェンスがコンクリート製のままで危険が伴うこと、公認野球規則にのっとっていないことが特に大きな問題であると考えている。

問 今後改修工事を行う中で、球場の整備内容について伺う。

答 教育部長 雨水排水等の整備、グラウンドの拡張整備、ラバーフェンスの設置、バックネット裏の整備、スタンドやスコアボードの改修等を行う予定でいる。

問 野球場整備工事に関わる総予算額について伺う。

答 教育部長 実施計画ベースになるが、4億1400万円程度を予定している。

問 球場の完成にあたり、使用目的と期待できる効果は何か伺う。

答 教育部長 市内の大会をはじめか、これまで以上に野球練習場の拠点としての利用が図られると考える。また効果としては、市外・県外の利用が増え、観光や商業の振興にもつながる期待が持てるかと考える。

問 子ども未来部の創設について子ども未来部の組織体系はどのようなになるか伺う。

答 市長 子育て支援課と保育課の2課体制とし、子育て支援課には課内室として子ども・子育て総合センターを設置し、保育課には保育園・幼稚園を位置づける。

問 子ども未来部と教育部との連携について伺う。

答 市長 発達支援児童への継続的対応などは、教育部と一体となっていくほか、「子ども・子育て支援事業計画」において放課後児童対策は、地域子ども・子育て支援事業の重要事業と位置づけ、学校との連携を密にして進めていく。

問 那須塩原市子ども未来基金を創設するが、その概要を伺う。

答 市長 基金額は7億円、主な使途は、保育園及び認定こども園の整備、放課後児童クラブの整備、病児保育施設の整備などに充てることとしている。

中学生のオーストリア・リンツ派遣

生徒36名の10年目の成果は



金子 哲也 議員

問 この10月の36名の中学生によるリンツ派遣の成果を伺う。

答 教育長 海外派遣に際し11回の事前研修を実施したが、英語によるコミュニケーション力の向上はもちろん、生徒たちは改めて日本の伝統や文化のすばらしさに気づき、これらに自信と誇りを持って帰国したことが成果と言える。

問 また、リンツ市での学校訪問やホームステイ等を通して、積極的に人と関わり、自分の考えをはっきり相手に伝えることの大切さ、あるいはグローバルな視点で物事を考えることの必要性を学んだことも大きな成果であったと考えている。

問 この成果や体験を、市民にどう知らせ伝えていくか伺う。

答 教育長 今年度開始した「なすしおぼら まなび博覧会」においても、中学生がプレゼンテーショ

ンを行い、会場から大きな賞賛の声をいただいた。また、今年度は英語教育推進室が公式フェイスブックを立ち上げ、リアルタイムで現地の活動様子をインターネットに載せた。今後様々な機会やメディアを通して、海外派遣の活動内容や成果について、積極的に情報発信していきたい。

問 リンツからの中学生受け入れ体制の現状と課題を伺う。

答 教育部長 毎年30人近くのホストファミリーの希望があり、どなたも温かいもてなしの心で受け入れてくれている。滞在期間中は、各中学校で授業や行事に参加し、日本の中学生と積極的に交流している。

問 さらに、これからの受け入れ体制の準備に、これからも努めていきたい。

彫刻家「南庄作翁」の顕彰について

問 我が郷土の最も誇り得る芸術家である、南庄作翁の展覧会に向けての考えを伺う。

答 教育部長 本市では南庄作翁の作品を112点ほど所蔵している。現在、ブロンズ化に取り組んでおり、その終了する平成28年以降には、展覧会を企画する予定である。

平成7年に亡くなられた後、ご遺族から多くの作品の寄贈を受け、昨年は代表作を市の文化財に指定したところである。

更なる防災の取り組み

那須岳噴火に対する危機管理について



星 宏子 議員

問 市民の生活生命線である上下水道の火山灰対策について伺う。

答 市長 那須岳火山防災マップによるとマグマ噴火は数千年に1回発生するとされ、本市水道浄水施設への降灰は最大20cmと想定。原水水質の悪化は水質検査を頻繁に行い水質変化の状況把握に努め、処理能力を超える数値が確認された場合、給水制限する。

問 給水制限がかかった時に配水池の貯水量はどのくらいか。

答 上下水道部長 配水池の容量は全体で3830m³。約18時間分程度の貯水量が加工されている。給水制限を合わせると、ある程度長時の滞留ができ給水できる。

問 浄水場に火山灰が入った場合、急速ろ過池の処理能力を伺う。

答 上下水道部長 急速ろ過は原水の濁りを薬品等を用いて前処理してからろ過する。火山灰について

も凝集剤により沈澱池で前処理してからろ過するので処理は可能である。

問 ハザードマップは市民には配布されていないが、自治会長、自主防災組織の会長への配布を伺う。

答 総務部長 現在は市のホームページに掲載したり総務部の窓口へ備え付けている。今後、自治会長、自主防災組織の会長に配布する。

問 聴覚障がい者のバリアフリーについて軽中等度難聴児の補聴器補助を受けた人数を伺う。

答 保健福祉部長 平成25年度中は新規購入者が1件。今年度は新規購入者が1件。修理は2件。

問 聴覚障がい者用非常用パトライト(回転灯)の設置について伺う。

答 保健福祉部長 設置している施設はない。非常時に点滅するフラッシュライト付き誘導灯を設置している施設は4カ所。庁舎や施設の建替時パトライトの設置を検討する。

問 エボラ出血熱対策について

答 保健福祉部長 法に基づき栃木県から指示があった時、病原体に汚染された場所や物件の消毒、廃棄を行い、水の使用制限の命令があった場合の水の供給を行う。

住民の安全と安心のため

防災行政について



高久 好一 議員

問 国は相次ぐ大規模災害に対し、住民の安全と安心のため、災害対策基本法改正を全会一致で可決した。本市の災害対策の現状と課題について伺う。

答 市長 市は地域防災計画を策定して、予防対策、災害発生時における応急対策、発生後における復旧対策等を定めている。また、自主防災組織の結成促進、活動強化を図るための説明会や、防災士養成事業を実施している。

課題としては、土砂災害等の情報周知についてさらなる充実を図る。また、自主防災組織の結成率が42.1%と低い状況にあるため、積極的に結成を働きかけたい。

問 防災・減災対策として、災害発生時から逆算して自治体と住民の動きをあらかじめ定めておく「タイムライン」導入の考えを求める。

答 市長 「タイムライン」は、災害が想定される数日前から発生時、その後の対応まで何を行うかを時系列に整理した減災のための計画で、自治体で取り組みの動きがあり、災害対策の漏れや機関ごとのばらつき等の解消が期待できる。

一方で早期段階から防災対策を行うため、予測が外れた場合、市民の防災意識低下につながるリスクや、経済的損失の意識により実効性が伴わないなど懸念される点があり、現時点での導入は考えていない。

問 国土交通省は「タイムライン」元年として、国が管理する全国109の河川で簡易版の試行を進めている。この中に那珂川や箒川が含まれているのか、那須塩原区域内の情報を知りたい。

答 総務部長 国土交通省で試行を実施しているという話だが、そういう情報はまだ届いていない。

問 障害者差別解消法が成立し、2016年4月から実施される。本市の取り組みについて伺う。

答 保健福祉部長 国の審議状況を見ながら、障がい福祉に係る団体等で構成する地域自立支援協議会や当事者団体等の方から、広く意見を伺い、検討を進めていく。

小規模振興基本法、小規模支援法についての本市の取り組みは。

西那須野地区のハード整備が終了、今後のまちなかづくりは



齊藤 誠之 議員

問 小規模企業振興基本法、並びに小規模支援法について、本市の今後の取り組みについて伺う。

答 産業観光部長 小規模企業の振興は地域の活性化にも大変重要な要素であることから、これらの法律に基づき、国の定める小規模企業振興基本計画に沿って、国、県、商工会や金融機関等の関係機関と連携・協力のもと小規模企業の支援を行っていく。

問 本市内の小規模事業者と定義づけられる企業数は？

答 産業観光部長 本市の小規模事業者数は、平成23年2月に実施した数字では総事業所数5137事業所のうち3977事業所となっている。ウエートは77.4%となっている。

まちなか創出について

問 西那須野駅西地区、都市再生整備計画の全体事業について並びに事後評価について伺う。

答 建設部長 平成17年度から平成21年度までの第1期事業として、約58億円の事業、並びに平成22年度から最終年度である今年度までの第2期事業で約14億円となっており、これらを合わせると、10年間で72億円をかけた大型事業となっている。

その他、本計画の事業と関連して県事業も含め、市の事業を合わせると総額で110億円を超える非常に大きな事業である。

事後評価については、事後評価書の作成に係る業務委託を10月に発注したが、整備事業が27年度にずれこむので、工事が終了する27年度に行う。

問 まちのにぎわいの創出のために、商工会あるいは商店会と今後どのように連携をとって、行政として取り組んでいくかを伺う。

答 産業観光部長 きれいに整備された道路や町並みにより、回遊性やアクセスも良好になり、今後はいかににぎわいを創出していくかがテーマである。今度は、商店会が主体となり、訪れる市民とスクラムを組み、何が大切であるかを捉えられる取り組みを市も一緒にやっていく。またその実現に向けて、協働の精神で立ち向かい、今後も継続して、まちづくりになすの或いは商工会との連携を一層強化し、一步一步着実に進んで行く。

支え合う市民の力を生かせる地域づくりに向けて

ボランティア・ポイント制度について



平山 啓子 議員

問 ボランティア・ポイント制度活用に向けて、どのような検討がされたか伺う。

答 市長 まず介護分野に限ったボランティア・ポイント制度について、現在策定中の第6期高齢者福祉計画の中に盛り込み、具体的な内容の検討を進め、できるだけ早い時期に導入を図るよう取り組みたい。
子育て支援の一環としての不妊症対策について

問 市民に不妊症という病気を知ってもらうため、市の広報誌に特集を組んで周知してはどうか。

答 保健福祉部長 現在、市のホームページに不妊症についての相談に関する情報を掲載している。

問 高額な治療費を伴う不妊症への経済的支援について伺う。

答 保健福祉部長 現在のところ市として公費負担の考えはない。

問 母子手帳に、流産、不妊症、検査や治療のできる病院、カウンセリング窓口の紹介や情報を掲載してはどうか。

答 保健福祉部長 母子手帳にそれらの情報を入れることについて、担当と話し合い、調査したいと思っている。

女性の希望実る社会実現の取り組みについて

問 今後、本市の女性管理職の割合を増やす取り組みを伺う。

答 総務部長 今年度初めて、女性の幹部候補生を養成することを目的に、係長の職にある女性職員1名を自治大学校での研修に参加させたほか、次期管理職候補となる職員を対象に、管理職養成研修を実施したところである。

問 育休切り、雇い止めなど、マタニティーハラスメントを受ける女性が後を絶たない現状について、市の考えと対策を伺う。

答 企画部長 男女雇用機会均等法でも禁止されている事項であり、そういうことは決まっていたはずはないかと思っている。セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどとともに、マタニティーハラスメントについても意識啓発を広めていく必要があると考えている。

那須地域定住自立圏構想

本市の将来像について



玉野 宏 議員

問 那須地域定住自立圏構想の「環境」について、圏域において導入可能な再生可能エネルギーと、循環型社会構築の考えを伺う。

答 市長 太陽光、小水力など地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進に向け、構成市町と今後協議をしていきたい。
また、循環型社会の構成のために大量生産、大量消費、大量廃棄型の現代社会のあり方やライフスタイルを見直し、環境負荷を低減させることが必要であると考えている。

問 日本は競争から共生、成長から成熟へシフトする状況に入った。成熟の潜在力は地方であり、未来のために社会に広がり始めた成熟という言葉が地域住民ともども共有する考えについて伺う。

答 企画部長 地方と首都圏での取り組みの違い等も出てくるが、

議員からの話も参考にしながら進めていきたい。

問 圏域内を一つとして、共通した美しい景観をつくる考えはあるか伺う。

答 企画部長 共生ビジョン策定の中で、議論していきたいと考えている。

問 本市を初め、圏域は酪農の地である。北海道の共働学舎は世界が認める和のチーズになった。那須独特の風土を生かし、和のバターを目指し勉強していくことはできないか。知名度、品質を上げ、地域力のアップになるのではないか。

答 産業観光部長 まずナチュラルチーズの可能性を探り出した和のバターに関しては、今後の研究の中で参考にしていきたい。

問 圏域の将来像を考えるにあたり、ブリヂストン黒磯工場跡地の現状について伺う。

答 産業観光部長 市としても情報を収集したいことから、地権者と定期的な打ち合わせをしている。

問 那須塩原駅西口について、展望の未来を伺う。

答 市長 那須地区の玄関口、中心市として今後地域をリードする要になってくることは間違いないと推測している。

庁舎建設検討特別委員会

市が策定作業を進める「新庁舎建設に関する基本構想」への提言書を、平成27年1月22日(木)に市議会として市長に提出しました。

提言事項は、本特別委員会での7回の審議と議論を踏まえ、「庁舎を拠点としたまちづくり」、「新庁舎に求めるサービス内容」、「整備位置」、「整備時期」に「その他」の事項を加えた5項目としました。

▽「まちづくり」に関して

那須地域の中心市として人口の減らないまちづくりを進めること、災害時に防災の拠点としての機能を果たせること、他の官公署等との関係など。

▽「サービス内容」に関して

市民の利用しやすさを考慮し、バリアフリー構造、ワンストップフロア構造を取り入れたユニバーサルデザインとすることなど。

▽「整備位置」に関して

交通事情等が市民の利用に最も便利であること、那須地域の玄関口である那須塩原駅を核として、容易にアクセスできることなど。

▽「整備時期」に関して

平成30年度までの完成に最大限努力すること、新庁舎整備基金、合併

特別債の財源を有効に活用できると。

▽「その他」

市民アンケートに関すること、適切な規模とすること、議会スペースに関すること。

今後は、基本構想を基に策定が予定される「基本計画」、「基本設計」、「実施設計」についての提言に備え、本特別委員会では先進地視察も行いながら、今後も議論と審議を行う予定です。

本特別委員会の会議経過等については、今後も議会だよりを通してお知らせしていきます。



市長への提言
(平成27年1月22日)

姉妹都市交流事業

本事業については、本市と姉妹都市を締結している富山県滑川市、茨城県ひたちなか市、埼玉県新座市の各市議会と本市議会が相互理解を深め、親善交流を図るとともに、両市のまちづくり推進に寄与することを目的として交流を行っています。

今年度は、富山県滑川市、茨城県ひたちなか市との交流を行いました。

▽滑川市議会来訪

平成26年4月16日(水)～17日(木)、富山県滑川市議会が親善交流のため来訪されました。

姉妹都市締結のきっかけとして、那須野が原開拓の歴史と滑川からの入植者との関わりがありますが、視察された那須野が原博物館10周年記念リニユーアル展示により、改めて両市の縁を感じたところです。

また、カゴメ那須工場と那須ガーデンアウトレットでは、本市の産業について、より理解を深めていただきました。

▽ひたちなか市議会表敬訪問

平成26年7月14日(月)～15日(火)、本市議会において茨城県ひたちなか市議会を表敬訪問しました。

現地視察では、世界一のエレベーター研究棟である日立製作所「G1タワー」に搭乗し、超高速エレベーターなどの最先端技術製品、都市開発システムを知ることができました。また常陸那珂港区では、首都圏・北関東地域の経済活動支援、物流・産業拠点港の機能について学ぶことができました。

ともに清流那珂川の流域にあるまちとして、今後もそれぞれの特性を生かした交流を続けていく予定です。



滑川市議会来訪



ひたちなか市議会表敬訪問

市議会って？Q&A～素朴な疑問にお答えします～

Q 一般質問とは？



A 議員が市の事務の執行状況や将来に向けての方針などについて報告や説明を市長に求め、市民のための適切な市政運営が進められているかをチェックするものです。

Q 一般質問の内容は自由なの？



A 質問のテーマは各議員が自由に決めることができます。質問者は時間をかけて構想を練り、理論構成をして、質問の具体的な内容を伝えます。時には現場を見に行ったり、調べ物をしたりして現状と課題を探り、議場での質問に臨みます。

Q 一般質問をする順番は決まっていますか？



A 一般質問をする順番は、議長への届け出(通告)順で決まります。傍聴者が議場に来る時間がわかりやすいため、議会の質問日(特に初日)の朝一番の順番が人気があり、議員の間で競争率が高いです。

Q 質問のやり方は決まっていますか？



A 一問一答方式を採用しており、一つの質問に対してその都度一つずつ答える方法で行います。議員、執行部、そして傍聴者にもやり取りがわかりやすく、また活発な議論が交わされるメリットもあります。持ち時間は40分。40分使い切ると、質問席のマイクのスイッチが切られます。

Q 質問に対する答えはあらかじめ用意されているのですか？



A 議員だけではなく傍聴者にもわかるようはっきりと述べるためには、しっかりとした答弁が必要です。また、質問や答弁が中途半端に終わらないようにするためにも、市側は答弁するための資料を準備します。資料などの準備をしておかないと、質問に対して「手元に資料がないので答えることができない」という返事になってしまいます。公開の場で市の考え方や方針をはっきり述べるためにも、答弁には十分な準備がされています。

那須塩原市牛乳消費拡大PRキャラクターみるひい

第3回 議場コンサート

～3月議会～

那須室内合奏団による

ヴァイオリンとチェロによる雑まつりコンサート



ひと足先の春を感じてみませんか
お気軽にお越しください

♪日時 平成27年3月3日(火)
午前9時30分～45分

♪演奏者 那須室内合奏団

演奏曲目

カノン 風のワルツ 早春賦 ほか

【編集後記】

いつも最後まで議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。

新年を迎え早いもので2月の半ばを過ぎてしまいました。今年はその須塩原市制10周年という節目の年です。今後さまざまな形でイベント等の行事が開催されていきますので、ぜひご参加ください。

今年はその須塩原市制10周年という節目の年です。今後さまざまな形でイベント等の行事が開催されていきますので、ぜひご参加ください。

議会だより編集委員会

委員長 高久 好一

副委員長 鈴木 伸彦

委員 藤村由美子 星 宏子

齊藤 誠之 佐藤 一則

松田 寛人 若松 東征

“読みやすく

親しみやすい紙面に

チャレンジing”

議 会 日 誌	10月	2日	庁舎建設検討特別委員会
		7日	愛知県西尾市議会来訪 鳥取県米子市議会来訪
		8日	新潟県新発田市議会来訪
		9日	那須地区議員交流会幹事会 議会報告会班長会議
		15～17日	建設水道常任委員会所管事務調査(愛知県東海市ほか)
		23日	議員全員協議会 議会活性化検討特別委員会 放射能対策検討特別委員会 島根県松江市議会来訪
		24日	茨城県ひたちなか市議会来訪
		27日	和歌山県田辺市議会来訪
		28日	庁舎建設検討特別委員会所管事務調査(東京都青梅市)
		30日	議会だより編集委員会
31日	長崎県長崎市議会来訪		
議 会 日 誌	11月	4日	那須地区議員交流会(大田原市役所)
		6日	庁舎建設検討特別委員会
		7～8日	総務企画常任委員会所管事務調査(東京都町田市ほか)
		11日	議会報告会班長会議
		13日	議会運営委員会 議員全員協議会 議会活性化検討特別委員会
		17日	議会報告会(西那須野公民館)
		18日	議会報告会(稲村公民館)
		19日	山形県鶴岡市議会来訪
		20日	議会報告会(塩原公民館)
		21日	議会運営委員会
28～12月16日	平成26年第4回那須塩原市議会定例会		
議 会 日 誌	12月	8日	議会だより編集委員会
		15日	議員全員協議会 議会報告会班長会議
		16日	議会活性化検討特別委員会
		24日	議会だより編集委員会
		25日	庁舎建設検討特別委員会

議会を傍聴してみませんか

議会定例会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

次の2月定例会は2月27日(金)開会予定です。

詳しい内容は随時ホームページでお知らせいたします。

➡ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

◆12月定例会傍聴者数 のべ 19人

♣読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。

♣議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見、または音声版議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

[E-mail] gikai@city.nasushiobara.lg.jp

[TEL] 0287(62)7181